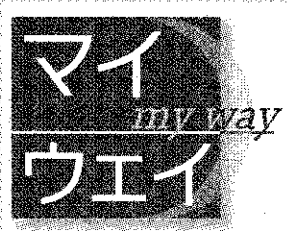


初めての役職

初対面のあいさつの時、日本で欠かせないのは名刺である。私も、専任教員になった時に南山大学のロゴが入った名刺を作った。同時に、渡した代わりにももらった名刺の整理に頭を悩ませた。名刺の内容には多少の変更もあったが、名刺に



南山大学学長 ミカエル・カルマノ 32

ついて当初から変わらないままで続けていることが二つある。その一つは、交換のペースについて行けない

でいる、この名刺の整理である。そこが「もじ」は、「Michael Calmano, svd, Divini (「神」)の略字である。ローマ字表

「カトリック神言修道会」を執っていた。長崎には(2回も高校野球で甲子園への進出を

これは、私にとって初めての本格的な役職であった。任命を受けて仕事に専念してきた私は今度は、仕事の一環として人を任命する役割を果たすようになった。1998年の秋ごろ、南山学園の理事長に就任することになり、私は一期で管区長の職を離れたが、この3年間で大事なレッスンを積んだ気がする。名刺の整理整頓よりも、一緒に仕事をする(はずの)人をまとめるのは遙かに難しい。

部下まとめる苦労を知る

記での私の氏名の何故かという、宗教法人書き方である。

「カトリック神言修道会」を執っていた。長崎には(2回も高校野球で甲子園への進出を



管区長の時に乗り回した車

大学教員であれ、氏名の後に「山大学講師・准教授・教授」という肩書きとすることで、(例えばPh.D.)、頭につけるのは職名(「Prof.」)に、ロータリークラブの名

この3年間で大事なレッスンを積んだ気がする。名刺の整理整頓よりも、一緒に仕事をする(はずの)人をまとめるのは遙かに難しい。

前に紹介したように、この宗教法人は南山学園

3年間その代表役員(「管